

膝・股関節の痛みを我慢していませんか？

横浜労災病院 人工関節外科

「日本人の平均寿命はすでに世界最高水準となっていますが、健康で自律的な生活を送ることができる時間、いわゆる健康寿命を延長することが昨今の重要な課題となっています。そのためには自分の力で歩く能力を維持することも重要ですが、様々な疾患で股関節、膝関節といった下肢の関節機能が損なわれ、運動機能障害をきたしてしまっている方も少なくありません」と話すのは、横浜労災病院人工関節外科の小泉泰彦副部長。



整形外科副部長／人工関節外科副部長 小泉泰彦

同科では股関節、膝関節の関節疾患（変形性関節症、大腿骨頭壊死、大腿骨顆部骨壊死、外傷の後遺症、関節リウマチなど）に対し人工関節置換術を中心とした手術加療を年間200件以上行っている。同科は複数の整形外科学会専門医を擁し、その知識と経験から一人ひとりに合った手術に限らない総合的な治療方針を評価するという。手術が必要な場合には、術前3次元CTによる3Dテンプレートングソフトを用いた3D画像による設計図作成と骨形態に最も適合するインプラント選定を行い、また手術中もポータブルナビゲーションなどの最新技術を積極的に使用し、それぞれの骨や関節の形態に適した高水準の手術提供に努めている。

また手術後のリハビリは歩行機能の改善にとっても大切な治療だが、下肢の筋力、関節可動性などの機能は一人ひとり異なるため、同院では、主治医と共に担当する専属の理学療法士が術前から術後まで一貫して対応し、症状に合わせた丁寧なプログラムでリハビリを行っている。

さらに同院は30以上の診療科を擁する総合病院であり、様々な基礎疾患を持つ場合にも関連各科と連携して治療に臨むことができる。「他院で手術できないと言われた方であってもあきらめずご相談ください」と同院。